

ひとはく通信

ハーモニー

105

Jun. 2019



特集 石ころズラリ

〜美しい鉱物から珍しい岩石まで〜

水晶（ハーキマーダイヤモンド）

—博物館標本はタイムカプセル!?!—

ひとはくの生物系収蔵庫に収められている生物標本は、どのような役に立つのでしょうか。生物の姿かたちや、いつ、どこにいたか、という情報を標本から得ることで様々な研究に役立っています。最近では、標本のDNA(遺伝子)の情報も利用できるようになりました。DNAは、生物の設計図となるもので、細胞一つ一つに含まれている物質です。生物が死ぬとDNAも分解されますので、標本からDNAを調べるのはこれまで困難でした。しかし、解析技術の進歩によって、比較的簡単にDNAを調べることが可能になりました。

標本は過去の情報を知ることができる、いわば「タイムカプセル」と言えます。最近数が減っている生物や絶滅してしまった生物標本のDNAから、標本が採集された当時、どれくらいの数があったかといった情報を知ることができるからです。

生息していた数の時間的な変化と環境の変化の関係を調べることで、その生物がなぜ減少したかを知ることができます。絶滅の心配が大きな生物の減少理由を明らかにし、また守っていくためにも、生物標本を収蔵しておくことはとても重要です。

中瀆 直之(自然・環境再生研究部)



写真
人博に収蔵されている植物標本

トピックス

新入館員 自己紹介



館長補佐
梶本 久美子

20年ぐらい前に人博に息子達を連れてきた時、本物のコーカサスオオカブトを持った写真を撮らせてもらい、それをずっと職場の机に飾っていました。

多くの人に親しんでいただける博物館になるよう、努めてまいります。



研究員
中瀆 直之

本年度より自然・環境再生研究部に着任いたしました中瀆です。DNA(いきもの設計図)情報を使って、いきものを守る研究を専門にしています。いきもののおもしろさや大事さをより楽しくお伝えできる博物館になるようにと思っておりますので、よろしくお願いたします。



研究員
奥井 かおり

“しぜん”と聞いて、なにを思い浮かべますか?自分の手の届く自然、壮大なスケールの自然。

“わたしたち”と“しぜん”はどのように関わり合うことができるのか、共に考え、体験出来たらと思います。よろしくお願いたします。



フロアスタッフ
堀口・井上

今年度からフロアスタッフに加わりました。

来館される皆さまに、笑顔で博物館の楽しさをたくさんお伝えし、来てよかったと思っただけのよう頑張ります!

どうぞよろしくお願いたします。